



令和6年度 全国高等学校総合体育大会

君の作品がインターハイの顔になる！

大会愛称
スローガン
シンボルマーク
総合ポスター図案

募

集

■ 大会について

全国高等学校総合体育大会とは

通称「インターハイ」とも呼ばれ、全国各地の予選を勝ち抜いた選手が集う高校生最大のスポーツの祭典です。

大会では競技に参加する高校生だけではなく、大会を支える高校生や地域の方々も参加して、北部九州ブロック(福岡・佐賀・長崎・大分)で開催準備・運営に取り組み、全国から訪れる多くの人を「おもてなし」の心で迎え、本県を訪れた人々の記憶に残る大会を目指しています。



インターハイ
マスコットキャラクター
ウイニンくん

©インターハイ

■ 開催競技(種目)

【28競技】北部九州ブロックで実施。

陸上競技・体操(体操競技・新体操)・水泳(競泳・飛込・水球)・バスケットボール・バレーボール・卓球・ソフトテニス・ハンドボール・バドミントン・ソフトボール・相撲・柔道・ボート・剣道・レスリング・弓道・テニス・登山・自転車(ロード・トラック)・ボクシング・ホッケー・ウエイトリフティング・フェンシング・空手道・アーチェリー・なぎなた・カヌー・少林寺拳法

※ヨット:和歌山県で開催

※サッカー:男子が福岡県、女子は北海道で開催。

■ 問い合わせ先

〒870-8503

大分県大分市府内町3丁目10番1号

大分県教育庁体育保健課 学校体育班

TEL:097-506-5639

FAX:097-506-1812

■ 要項・申込用紙ダウンロード先

大分県教育委員会ホームページ内の「令和6年度全国高等学校総合体育大会愛称等募集について」をクリック!(URLは↓です。)
<https://www.pref.oita.jp/site/kyoiku/r6inta-haiaisyotoubosyu.html>

■ 応募資格(対象)

応募資格は大分県内の高等学校に在籍する生徒です。

■ 応募方法

- ・応募作品数は、各部門(大会愛称、スローガン、シンボルマーク、総合ポスター図案)1人1点とします。
- ・応募作品は、自作、未発表のものに限ります。
- ・作品は学校ごとに取りまとめの上、応募してください。
- ・大会愛称及びスローガンは、所定の応募用紙を使用して応募してください。
- ・シンボルマーク及び総合ポスター図案は、作品裏面に所定の応募用紙を貼り付けて応募してください。

■ 表彰

- 最優秀賞:各部門1点
 - 優秀賞:各部門1点
 - 佳作:各部門2点
- ・入選者には、賞状及び記念品を贈呈。
 - ・入選者については、学校長を通じて通知するほか報道機関等に発表します。

応募
締切

第1弾:大会愛称及びスローガン
⇒令和3年12月6日(月)必着

第2弾:シンボルマーク及び総合ポスター図案
⇒令和4年1月12日(水)必着

◇作品の取扱い

- (1) 最優秀作品は、令和6年度全国高等学校総合体育大会の愛称、スローガン、シンボルマーク及び総合ポスター図案として採用しますが、その際、加筆・修正等を行うことがあります。
- (2) 入選作品の著作権、商標権その他一切の権利は、福岡県準備(実行)委員会に帰属し、また、応募された作品は返却しません。
- (3) 応募作品について著作権等に関わる問題が生じた場合は、全て応募者の責任となります。

◇個人情報の取扱い

- (1) 個人情報に関しては、選考の目的以外に、本人の同意なく利用することはありません。
- (2) 個人情報保護条例に基づく場合を除き、本人の同意なく第三者に提供することはありません。
- (3) (1)(2)にかかわらず、入選作品の作者の学校名、学年及び氏名については公表します。

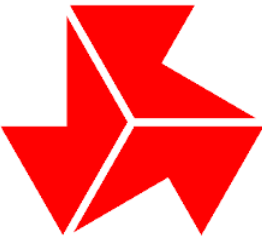
◇その他

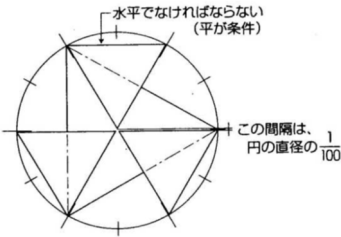
- (1) 募集要項に違反したものは、審査の対象となりません。後日違反が判明した場合には、入賞を取り消すことがあります。(2) 応募の時点で、募集要項の記載事項に同意したものとします。

■ 先催県の大会愛称・スローガン・シンボルマーク・総合ポスター図案と作品の説明

	令和2年度[北関東] (開催中止)	令和3年度[北信越]	令和4年度[四国]	令和5年度[北海道]
大会愛称	魅せろ躍動 北関東総体 2020 東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されるスポーツの年として、たくさんの人が活躍する姿を魅せてほしいと思いました。	輝け君の汗と涙 北信越総体 2021 選手が一生懸命に頑張って流した汗と、その後に流す涙で、感動を与えてくれる総体のイメージが光輝かしく感じたので、この言葉にしました。	躍動の青い力 四国総体 2022 「青」には、四国が“海”に囲まれていることや、“自然豊か”な場所であることや、そして、主役の高校生の“若さ”を込めています。2022年にこの四国の地で、高校生たちが、思う存分力を発揮して躍動して欲しいという思いを込めました。	翔び立て若き翼 北海道総体 2023 選手一人一人が勝利を目指し上へ翔び立ち、北海道の広い台地で羽ばたいてほしいという願いを込めました。
	夢を追う熱き思い 今虹となれ 夢を追いかける若き選手たち。その数えきれないほどの努力と熱い思いが感動を生み関東の空をかける虹となるイメージを表現しました。	走れ 北信越の大地を とべ 北信越の大空へ 出場選手たちに、北信越の地で思う存分試合を行ってほしいので、躍動感のあるスローガンにしました。	燃え上がれ我らの闘志 四国の大地へ 高校生の大人にはない闘志や勝ちへの気持ちを炎に表して燃え上がれという言葉を使い、高校生の力強さを表現しました。各県の思いをぶつけ合い、最後まで闘志を燃やし続け、感動を届けてほしいという思いを込めています。	轟かせ 魂の鼓動 北の大地へ 大空へ 高校生の闘志、勝利への執念、大会への思いを、競技を通して表現し、広大な北海道の広大な地を揺るがすほどの感動、躍動を届けてほしいという思いを込めています。
シンボルマーク	 選手一人一人が頂点を目指し、高く翔び立てほしいという思いをこめて、大きな翼をイメージし、たくさんの感動や出会い、選手たちの明るい未来を色鮮やかに表現しました。	 ベースの形を三角形にすることで、一つの頂点へ手を伸ばす選手たちを表しています。また、顔の位置はさらに上の舞台(オリンピック)を意識させるように配置しました。配色は各県の県旗からとりました。	 4つの県が協力して一つの形を作り上げているのを表現しています。枠内に収まっているながらも一つ一つのピクトグラムの動きに躍動感をつけ、スポーツの情熱と一体感を表現しました。	 北海道らしくするためにアイヌの模様を参考にしました。そして模様の間は選手をイメージし1つになるというのをイメージしました。みんなで1つになり結果を出すというイメージを中央の花の形で表現しました。
	 輝きに満ちながら大きく羽を広げ競技をする選手を描きました。また、リボンのたすきで応援してくれる人や今までの練習など、そこに至る思いを表現しました。	 勝利=光として、その光を掴もうと必死に手を伸ばしている様子を描きました。周りには花のようなものは、人の心を表現しました。	 光が射す青空に向かい躍動する選手たちを描きました。太陽の光は勝利を表し、選手たちの色は希望の光を浴びて輝く虹色で表現しました。	 今年はコロナで多くの大会が開催されなかったため、新しいスタートを切りだせるような構図にしました。走り出す姿は躍動感があつて高体連にぴったりだと思いました。

■ 高体連マークと作図法





水平でなければならない
(平が条件)

この間隔は、 $\frac{1}{100}$
円の直径の

※マークを構成している3つのKは、ドイツ語の頭文字をとったもので、次のような意味があります。

KRAFT(クラフト)……力
 KUNST(クンスト)……技
 KLARHEIT(クラールハイト)・明朗な精神

赤色はM90%+Y95%